

2 琵琶湖のあらし

琵琶湖のあらし

琵琶湖は、日本で最大の湖です。最も狭くなったところに琵琶湖大橋があり、これより北側を北湖、南側を南湖といい、両者は様々な面で性格が異なります。

琵琶湖には、大小約460本の河川が流れこみ、瀬田川と人工の琵琶湖疏水から流れ出します。計算上、湖の水が全部入れ替わるには約19年かかります。

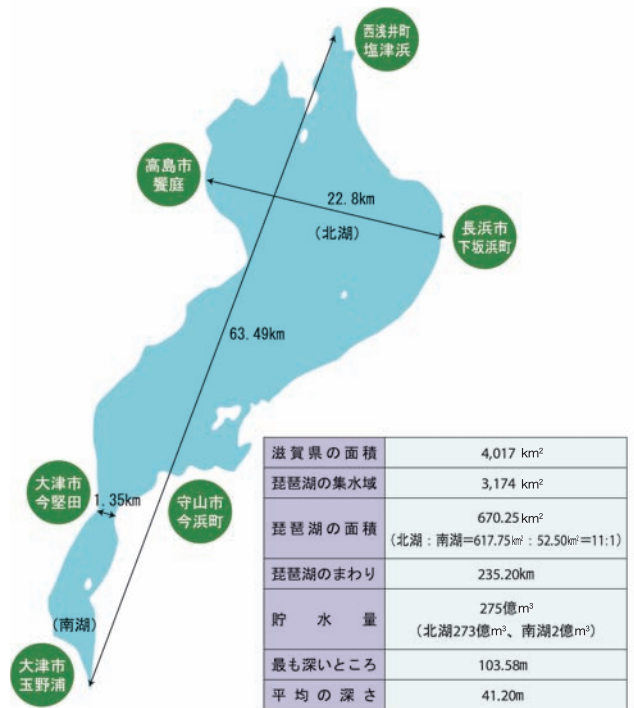
琵琶湖は日本最古の湖でもあります。今の湖は100万年以上昔にでき始め、祖先となる湖を含めると400万年にもなる世界有数の歴史をもつ「古代湖」です。長い歴史と変化に富む環境をもつ琵琶湖は生物相が豊かで、約600種の動物と約500種の植物が生息し、ビワマスやセタシジミなどの固有種も多く見られます。

●固有種

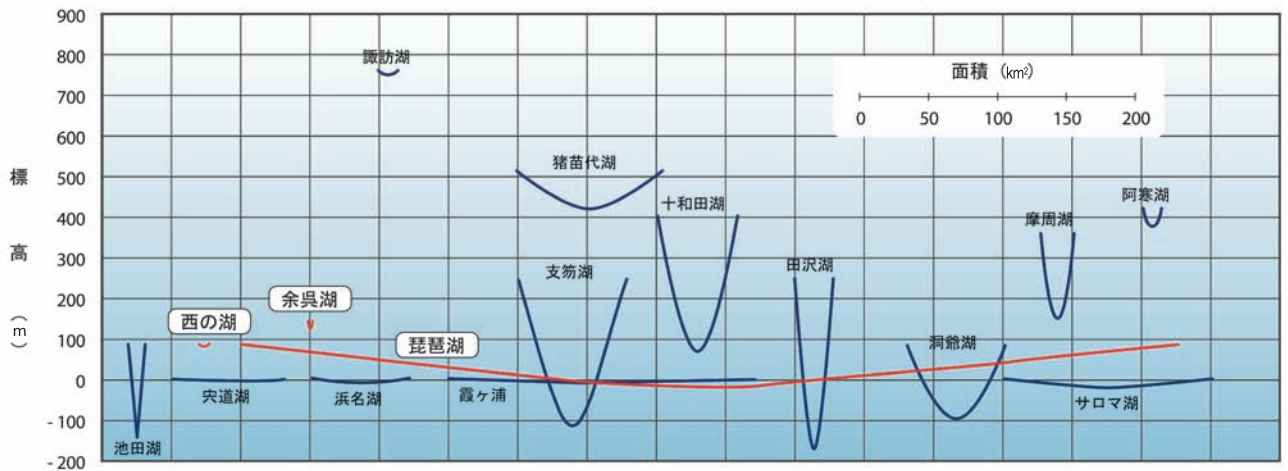
限られた地域・水域にしか分布しない生物のこと。琵琶湖は、日本でも抜きん出て固有種の多い湖で、50種以上が知られています。

●古代湖

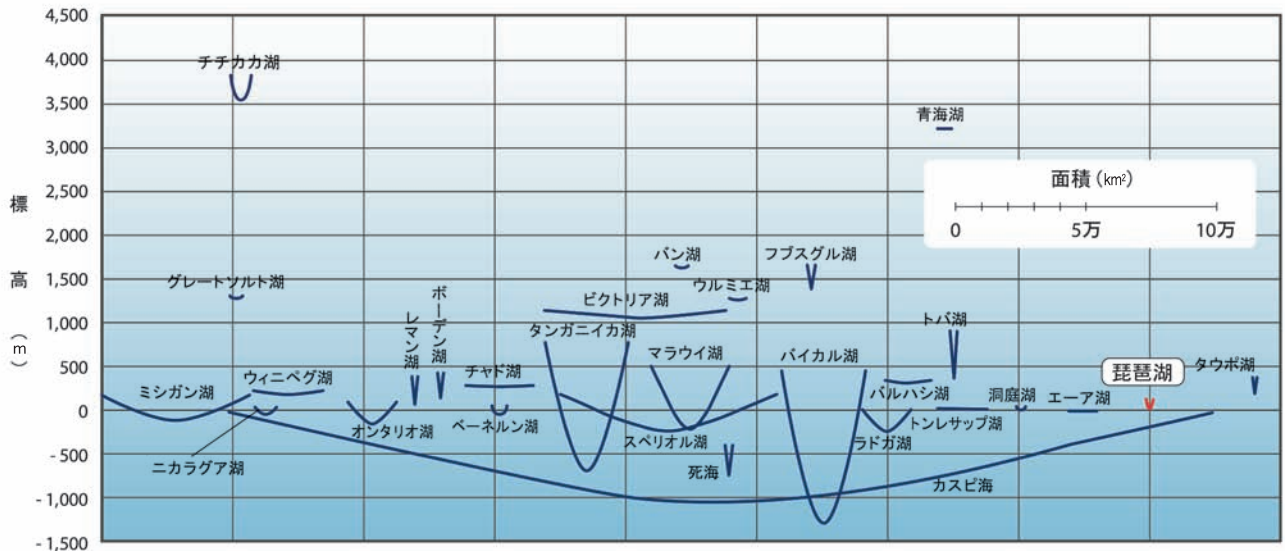
例外的に寿命の長い湖で、多くの固有種が進化する舞台です。バイカル湖やタンガニイカ湖など、世界中で20ほどの湖が古代湖として知られています。



◆国内の主な湖沼の特徴（面積、深さ、標高）の比較



◆世界の主な湖沼と琵琶湖の特徴（面積、深さ、標高）の比較



滋賀県の地勢

琵琶湖のあらし

滋賀県の環境行政の枠組み

豊かで美しい自然環境の保全

健全な水環境の保全

快適な生活環境の保全

グリーンな新エネルギーの開発・導入

ゼロ・エミッションの取組の推進

確実な環境配慮の実践

新たな環境活動基盤の整備

地域における環境づくり

滋賀県庁の環境負荷低減への取組

滋賀の環境のあゆみ

琵琶湖の価値

琵琶湖は、次のような様々な価値をもち、わたしたちに多くの恵みを与えてくれます。

①豊かな自然環境としての価値

豊かな水量と広々とした空間をもち、様々な生物を育む琵琶湖が、長い歴史を持って自然界に存在することが大きな価値であり、県民の心のよりどころともなっています。

◆琵琶湖水系に生息する固有種

底生動物(37種)

- | | |
|------------|-------------|
| ビワオオウズムシ | ※イカリビル |
| ビワカマカ | アナンデルヨコエビ |
| ナリタヨコエビ | ビワコシロカゲロウ |
| ビワコエグリトビケラ | ※カワムラナベバタムシ |
| ナガタニシ | ホンマキカワニナ |
| ビワコミズシタダミ | クロカワニナ |
| フトマキカワニナ | ナンゴウカワニナ |
| タテヒダカワニナ | モリカワニナ |
| ハベカワニナ | ナカセコカワニナ |
| イボカワニナ | オオウラカワニナ |
| ヤマトカワニナ | タテジワカワニナ |
| カゴメカワニナ | タケシマカワニナ |
| シライシカワニナ | カドヒラマキガイ |
| オウミガイ | イケチョウガイ |
| ヒロクチヒラマキガイ | オトコタテボシガイ |
| タテボシガイ | メンカラスガイ |
| ササノハガイ | オグラヌマガイ |
| マルドブガイ | カワムラメシジミ |
| セタシジミ | |

魚類(15種)

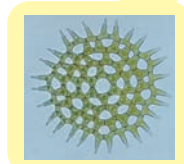
- ビワマス
アブラヒガイ
ビワヒガイ
ホンモロコ
スゴモロコ
ワタカ
ゲンゴロウブナ
ニゴロブナ
ビワコオオナマス
イトコナマス
イサザ
ビワヨシノポリ
ウツセミカジカ
スジシマドジョウ
大型種
スジシマドジョウ
小型種琵琶湖型

プランクトン(7種)

- ビワクンショウモ
ビワクンショウモの1変種
ビワクンショウモの1変種
ビワツボカムリ
ビワミジンコ
スズキケイソウ
スズキケイソウモドキ

水草(2種)

- ネジレモ
サンネンモ



ビワクンショウモ
写真提供: 琵琶湖環境科学研究センター



ネジレモ
写真提供: 琵琶湖環境科学研究センター



イケチョウガイ
写真提供: 松田征也
[滋賀県で大切にすべき野生生物2005年版]より



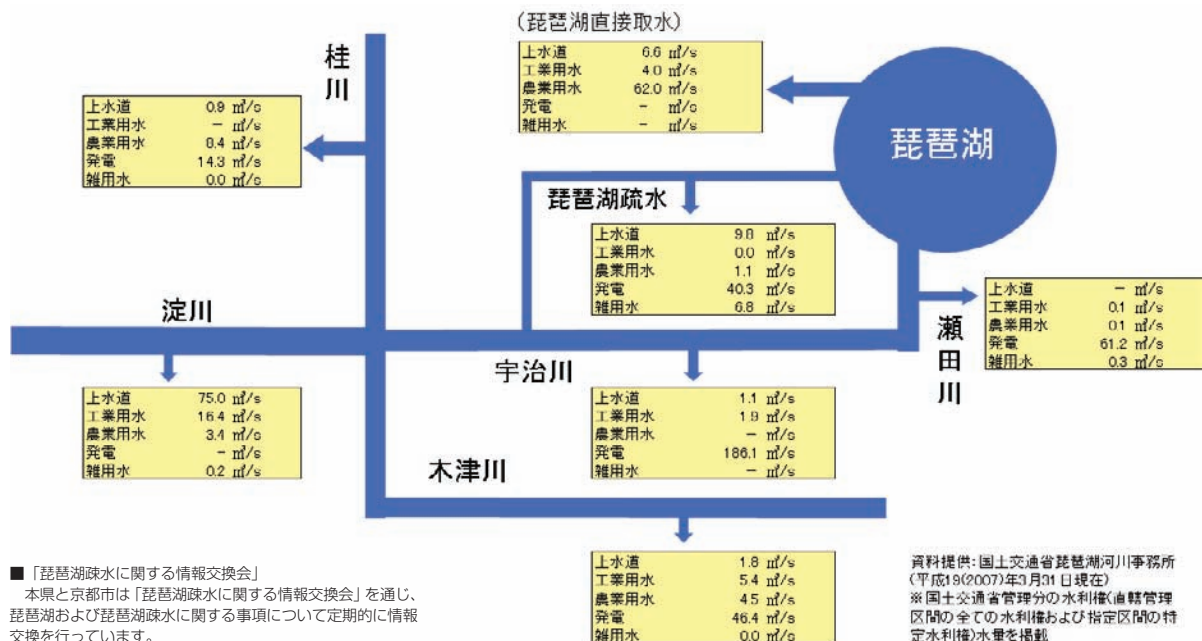
ニゴロブナ
写真提供: 琵琶湖博物館

※: 既に絶滅したと考えられる固有種

出典: [Nishino and Watanabe (2000): Evolution and endemism in Lake Biwa, with special reference to its gastropod mollusc fauna], 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課 (2005)「滋賀県で大切にすべき野生生物 2005年版」
琵琶湖ハンドブック編集委員会 (2007)「琵琶湖ハンドブック」琵琶湖の固有種 (西野)

②水源としての価値

琵琶湖は、近畿約1,400万人の水道水源であり、その他農業用水・工業用水などに利用されています。



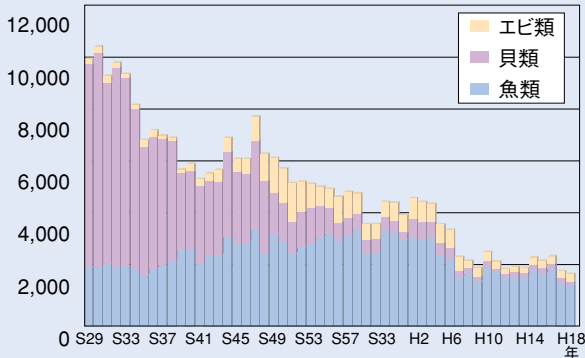
■「琵琶湖疎水に関する情報交換会」
本県と京都市は「琵琶湖疎水に関する情報交換会」を通じ、琵琶湖および琵琶湖疎水に関する事項について定期的に情報交換を行っています。

資料提供: 国土交通省琵琶湖河川事務所 (平成19(2007)年3月31日現在)
※国土交通省管理分の水利権(直轄管理区間の全ての水利権および指定区間の特定水利権)水量を掲載

③水産業の場としての価値

コアユ、ニゴロブナ、ホンモロコ、ビワマスなどの魚類をはじめ、セタシジミ、スジエビなど、平成18(2006)年には、1,837トンの水揚げがありました。

◆類別漁獲量の推移
(トン)



琵琶湖の魚介類は独特の漁法で獲られ、ふなずしなどのなれずしや湖魚の佃煮、あめのうお御飯などの伝統食として、滋賀県の産業や食文化を支えています。



セタシジミ



ホンモロコ



沖曳網



刺網



湖魚の佃煮



ふなずし



水浴場 (大津市)



竹生島

④観光資源としての価値

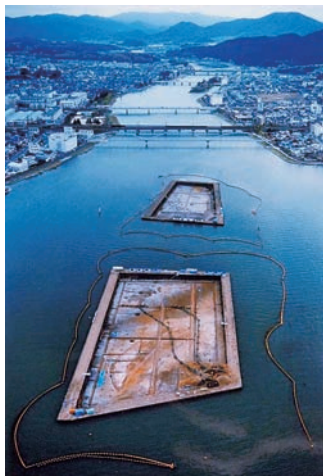
20箇所を超える水浴場と年間約4,666万人の観光客(平成19(2007)年の滋賀県への観光客)を数えます。



⑤ラムサール条約湿地としての価値

琵琶湖は、平成5(1993)年に「ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)」の登録湿地となりました。

沿岸市町と県が琵琶湖ラムサール条約連絡協議会を設立し、環境保全活動の支援、普及活動を行っています。



栗津湖底遺跡 (大津市)



針江浜遺跡 (高島市)

⑥学術研究の場としての価値

湖の生物・生態系、湖底遺跡などの学術研究の場となっています。

■湖底遺跡

琵琶湖の湖底には約80箇所の遺跡があります。湖底遺跡とは、琵琶湖およびその周辺の内湖(干拓化された内湖も含む)の湖底、および瀬田川の川底にある遺跡を指します。

これらの遺跡はかつて陸上にあったものが、地盤沈下や琵琶湖水位の上昇により水没したものと考えられています。琵琶湖の湖底遺跡は、沈船や港湾施設が崩壊して水没したものではなく、人間の生活の痕跡が当時の生活用品等とともに埋没していること、琵琶湖という同一水域内に多数立地しているという点において、世界的にも極めてまれな事例です。

滋賀県の地勢

琵琶湖のあらまし

滋賀県の環境行政の枠組み

豊かで美しい自然環境の保全

健全な水環境の保全

快適な生活環境の保全

グリーンな新エネルギーの開発・導入

ゼロ・エミッションの取組の推進

確実な環境配慮の実践

新たな環境活動基盤の整備

地域における環境づくり

滋賀県庁の環境負荷低減への取組

滋賀の環境のあゆみ